

日本動物考古学会 第13回大会 (第2報)

参加者の皆さま

立秋を過ぎてもなお酷暑が続いていますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

さて、来る10月3・4日の両日、広島県立歴史博物館を会場に開催させていただく、日本動物考古学会第13回大会のプログラムをお届けします。ご参会の皆さま、研究発表を申し込まれた皆さまにおかれましては、本紙の諸注意をご一読の上、ご準備くださいますようお願い申し上げます。

本大会が、皆さまにとりまして得難い学びと懇親の機会となりますことを願っております。

2026年8月吉日

日本動物考古学会

会長 本郷 一 美

○ 研究会 日 時：2026年10月3日（土）・4日（日）

会 場：広島県立歴史博物館（広島県福山市西町2丁目4-1）

参加費：無料

○ 懇親会 日 時：2026年10月3日（土）17:30～19:30

会 場：SALVATORE CUOMO & BAR 福山

（広島県福山市東桜町1-1 アイネスフクヤマ 2F）

※ JR山陽本線「福山」駅から徒歩3分

会 費：5,000円（税込）

※8月31日（月）を申し込み・キャンセルの締め切りとします。

○ 展示見学会 内 容：①展示室見学、②草戸千軒町遺跡出土動物骨の見学

日 時：2026年10月4日（日）13:00～（1時間半程度を予定）

場 所：広島県立歴史博物館（事前申込者のみ）

※8月31日（月）を申し込み・キャンセルの締め切りとします。

※展示見学会の事前申し込みをされた方の10月4日の入館料は学会が負担します。

発表者の皆さまへ

1. 口頭発表

- 発表データの受け渡しと使用機材

発表者は、ギガファイル便 (<https://gigafile.nu/>) 等のファイル転送サービスを利用の上、**10月2日(金)17時までに、本大会事務局 江田真毅 (edamsk@museum.hokudai.ac.jp) まで PowerPoint のデータをお送り下さい。**タイトなタイムスケジュールの中で円滑に大会を運営するための方法としてご理解とご協力のほどお願い致します。**発表には会場に設置された PC をご使用ください。**ご自身の PC を使用することはお控え下さいますようお願いいたします。

Microsoft365 がインストールされた Windows11 の PC を使用する予定です。Mac で発表データを作成される方は、事前に各自で発表データが Microsoft365 で作動するか動作確認を行ってください。

- 発表時間

1件当たり 15分です。内訳は**発表時間 12分、質疑応答 3分**とお考えください。10分経過（ベル1回）、12分経過（ベル2回）、15分経過（ベル3回）をお知らせします。大会を円滑に運営できるよう、時間の厳守にご協力をお願いいたします。

- 座長

各口頭発表者に直後の発表の座長（司会進行）を担当していただきます。皆様のご協力をお願いいたします。

2. ポスター発表

ポスターボードのサイズは横 120cm、縦 175cm です。会場には掲示用の画鋏等を用意しますので、ご自身の演題番号が記されているボードに掲示をお願いします。**ポスター掲示は 10月3日(土) 12:00 から可能です。発表時間は 10月3日(土)の 13:25~14:25 です。発表者は、この時間にポスター設置場所でご発表下さい。また、10月4日(日) 10:55 までに各自でポスターを撤収してください。**

お問い合わせ先

〒060-0810

札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学総合博物館 江田真毅

E-mail: edamsk@museum.hokudai.ac.jp

※会場へのお問い合わせはご遠慮ください

10月3日(土)

開場・受付 11:30～

開会の辞 12:30 (会長：本郷一美)

研究発表 A

- 12:35～12:50 A01 「高橋幸意コレクション所収今治市萩ノ岡貝塚出土
動物遺存体の再評価」
納屋内高史・畑山智史・遠部慎・兵頭勲
- 12:50～13:05 A02 「西庄遺跡における動物利用と王権 ―鳥獣類を中心に―」
丸山真史・江田真毅
- 13:05～13:20 A03 「日本海北部島嶼部オホーツク文化集団における鰭脚類利用の変遷
―礼文島浜中2遺跡出土動物遺存体による検討―」
折井美陽・加藤博文・佐藤孝雄
- 13:20～13:35 A04 「オホーツク文化集団の集落構造
―礼文島香深井1遺跡の動物考古学的研究―」
佐々木雄翔・藤澤隆史・高橋鵬成・春日拓也・佐藤孝雄

ポスター発表 (発表者・題目は別紙一覧) 13:35～14:25

研究発表 B

- 14:25～14:40 B01 「アンデス形成期における初期リャマ飼育の地域的多様性：
炭素・窒素・ストロンチウム同位体分析による検討」
鶴澤和宏・瀧上舞・山本睦・松本雄一・關雄二
- 14:40～14:55 B02 「古墳時代における馬の給餌と移動―飯田市域出土馬の同位体分析―」
植月学・覚張隆史・春日宇光・本郷一美
- 14:55～15:10 B03 「古代 DNA から推定したイヌのデンプン消化能力」
岡田莉奈・佐藤孝雄・西田巖・濱田竜彦・門脇隆志・金亨哲・
五條堀淳・寺井洋平
- 15:10～15:25 B04 「日本列島のイヌへのニホンオオカミ由来ゲノムの浸透とその意義」
松本藍・寺井洋平・松崎哲也・西田巖
- 15:25～15:40 B05 「古代 DNA からみる 縄文・弥生時代イノシシ属の遺伝的關係」
糸井梨香子・上奈穂美・加藤博文・佐藤孝雄・浜田晋介・
佐藤雅彦・鹿又喜隆・澤田純明・藤田三郎・丸山真史・森田義史・
西田巖・寺井洋平・五條堀淳

記念撮影

表彰式・総会 15:50～16:30

懇親会 17:30～19:30

10月4日（日）

開場 9:00～

研究発表 C-

- 9:20～9:35 C01 「河南省西水坡遺跡の貝殻図像に関する一試案」
畑山智史
- 9:35～9:50 C02 「紫外線撮影によるイモガイ製品の種同定手法の開発」
青野友哉・永谷幸人
- 9:50～10:05 C03 「北海道北斗市茂別遺跡における動物遺存体の再評価」
風間智裕・畑山智史・福井淳一・宮田佳樹
- 10:05～10:20 C04 「「骨塚」からみた縄文時代晩期の狩猟活動」
鬼塚太基・植月学
- 10:20～10:35 C05 「骨角製装身具類からみえる 縄文/弥生 移行期について」
川添和暁

休憩（15分） ポスター撤去

研究発表 D

- 10:50～11:05 D01 「サイコロの考古学2：鎌倉編」
福井淳一・江田真毅・泉洋江・澤田純明
- 11:05～11:20 D02 「大坂城下町跡における貝類利用—OJ24-1 次調査を中心に—」
多田一郎
- 11:20～11:35 D03 「沖縄県大工廻八所集落跡における近代の動物資源利用」
樋泉岳二・屋比久大翔
- 11:35～11:50 D04 「ニワトリはいつ北海道に導入されたのか？」
江田真毅・泉洋江・福井淳一
- 11:50～12:05 D05 「ウリボウを用いた死体現象実験」
森俊輔・佐藤千晴・大月清也・奈良貴史
- 12:05～12:20 D06 「現生標本の保管と活用」
山崎健・坂本匠・山口欧志

閉会の辞 12:20 （副会長：鶴澤和宏）

広島県立歴史博物館の見学会（①展示室見学、②草戸千軒町遺跡出土動物骨の見学）

13:00～ ※事前申し込み者のみ

ポスター発表 10月3日(土) 13:35~14:25

- P01 「(資料紹介)「府中高校考古資料」津雲貝塚出土資料の自然科学分析」
遠部慎・畑山智史・杉山歩夢・及川穰・小林謙一
- P02 「ポンマ遺跡の動物遺体同定と貝殻成長線分析」
三谷智広
- P03 「縄文土器の器面調整・施文に用いられた貝種同定の試み(1)」
—小山田遺跡群 No.28 地点出土 打越式土器の検討—
宮本由子
- P04 「The Zooarchaeology of Turtles in Asia」
Jada Ko
- P05 「遺跡出土タカ科の骨形態同定基準の作成：後肢編」
許開軒
- P06 「日本列島北部における鯨類遺存体の出土状況の時空間的变化」
小倉理真子
- P07 「北海道に生息するアカネズミ属頭骨における同定基準の再検討」
劉旻・江田真毅
- P08 「小型げっ歯類古代試料からの非破壊 DNA 抽出条件の検討」
平澤さつき・加藤博文・佐藤孝雄・寺井洋平・長田直樹
- P09 「ニワトリ古代ゲノムの分子系統解析による江戸時代の日本鶏の系統推定」
山田洋平・松田優樹・江田真毅・泉洋江・覚張隆史・後藤達彦・新村毅
- P10 「Identifying the Species and Husbandry Practices of Chicken Remains from the
Namjeon Shell Midden Using ZooMS and Stable Isotope Analysis」
Songyi Kim・Joo Hee Chung・Hee-Jung Kim・Kyungcheol Choy
- P11 「Carbon and Nitrogen Stable Isotopes Reveal Dietary Variations in Ancient Cattle
from Korean Archaeological Sites」
Jongseung Lee・Kyungcheol Choy
- P12 「オオカミ (*Canis lupus*) の家畜化における前頭洞の形態学的検索」
鈴木千尋・佐々木基樹・岩崎遼太・坂東元・中村亮平・佐藤伸高・伊藤綾夏
- P13 「安定同位体分析を用いた北レヴァント銅石器時代におけるヒツジ、
ヤギの出生時期の復元」
西勇樹・板橋悠・新井才二
- P14 「弥生時代の山陰地域におけるイノシシとブタ」
新美倫子・内田律雄
- P15 「多元素同位体分析による縄文・弥生時代の狩猟域推定
—西川津遺跡出土資料による検討—
石丸恵利子・日下宗一郎・申基澈
- P16 「レバノン、ケウエ洞窟遺跡より出土した中部旧石器時代の動物遺存体」
廣瀬允人

- P17 「円筒下層式期の北東北における骨角器の穿孔技術
—穿孔部の厚さ・幅と技術選択の関係性の検討—」
算用子眞充
- P18 「中世堺における骨角製品製作の立地特性 —職人層の移動の検証—」
立石廉
- P19 「動物骨の代替としての糞石の安定同位体分析による食性復元と年代測定」
板橋悠・三木健裕・黒沼太一・田邊幹太郎・近藤康久
- P20 「土器残存脂質分析ワークフローの実践とこぼれ話
—微量バイオマーカー検出を中心に—」
宮田佳樹・宮内信雄・小澤仁嗣・堀内晶子
- P21 「骨格標本 3D モデルの作成と活用—三次元計測による標本利用の展開—」
坂本匠・山崎健・山口欧志

会場のご案内

広島県立歴史博物館 〒720-0067 広島県福山市西町2丁目4-1

◆ JRを利用する場合

JR福山駅、福山城口（北口）から西へ400m

◆ 自家用車・レンタカーを利用する場合

博物館北側の市営駐車場を利用可能

料金：1時間までの30分ごとに150円、1時間を超える30分ごとに100円

（午後10時から午前8時までは1時間ごとに100円）

博物館を観覧される場合は、受付に駐車券を持参すると1時間まで無料。

